

クランド MAGAZINE

可愛いらしいラベルのお酒
大集合！



動物のお酒



動物ラベルの日本酒たち

商品企画の裏側

キュートすぎる！

アニマルカクテルの図鑑

動物たちに癒されて



突然ですが、好きな動物はいますか？ 飲み会の席で「好きな動物って何？」なんて聞くと、結構議論になって、仲のいい友人の意外な一面を知ることができたなんて機会がある人もいるはずです。愛らしい動物たちは見ているだけでも癒されますよね。クランドでもここ数年、動物をモチーフにしたお酒がたくさん登場しました。今回はそんな動物たちが主役の号です。なぜクランドでは今動物モチーフのお酒が増えているのかを紐解いていきます。あなたの推し酒もぜひ探してみてください。

Index

- 4 クランドアニマルパーク
- 6 動物ラベルの日本酒たち商品企画の裏側
- 10 キュートすぎる！アニマルカクテルの図鑑
- 12 アニマルおつまみレシピ
- 14 くにゃんどの誕生秘話
- 16【新連載】クラフト酒造巡り Vol.1 白百合醸造
- 18 クランドのクラフト酒
- 26 商品の詳細は Web ページをチェック
- 27 お酒を飲む前に
- 28 覚えておけば怖くない！スパークリング酒の開栓方法
- 29 お酒に関する注意事項



やんのかステップ



日本酒エリア



えんこ



ponko



熊猫

クランド アニマル パーク

Webマガジン
でも紹介中!

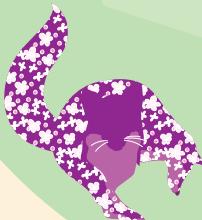
クランドには近年たくさんの動物を
ラベルに描いた商品たちが増えてきています。
そんな動物ラベルのお酒たちが一挙に大集合!



因幡を愛しすぎて
伝説の酒米を復活
させてしまったうさぎ



空飛ぶペンギン



うらだねこ



OHITOYOSHI
KUMA

裏狸



うらざつね

焼酎エリア



GORILLA
GORILLA
GORILLA



おこじょ
白鳴



うさみみ

汗かきゾウさんの
塩グレープフルーツ



まるのみ。
ピーチ

汗かき
コアラさんの
塩ライチ



果実酒エリア



白黒つけない
鹿です。



OHITOYOSHI
KUMA



カピバラ温泉



Chateau
Usagi



PIG



ワインエリア



ダックスワイン



チワワイン





修行を終え、1人前になった2人が蔵を代表し、先導していく…。3年目のラベルが今も受け継がれています。

渡邊さんは酒造りで、若松さんは営業。それぞれの道で修行始めました。

大学卒業以来、久しぶりに再会。居酒屋で飲み交わす2人の姿をきました。2人の物語の始まりで

発売後3年間の
ラベルの変遷

「初年度は居酒屋で渡邊と
若松さんです」

YUJIN「子猫に子犬ですね！今後もますます楽しみになりました」

もっと詳しく！
知りたい人は、
開発秘話をチェック



犬猫2人の変遷とともに、ラベルも変化

若松さん「初年度は居酒屋で渡邊とはどんな商品になるかイメージもつかみ切れていたかったので、デザインは任せなければいいかなと思って。実際に出来上がりを見て、思った以上にポップな印象でワクワクしました」
若松さん「じつは最初の3年はラベルが毎年変化し、少しずつストーリーが変わっていくという形にしたんです（上参照）。それが結構お気に入りで、YUJI-N「そうでしたね！懐かしいです」

渡邊さん、リヨコール展開はしてみたいですね。あと久しぶりに1~3年目の時のようにストーリーが進むのも見てみたいですね。例えば私も若松もちょっと子どもが生まれたので、そうしたプライベートの進展などもストーリーに盛り込めたら面白そうです」
Yujin「子猫に子犬ですね！ 今後もますます楽しみになりました」

渡邊さん「そうですね。それで私が実家である宝山酒造を継いで、大学時代の友人であった若松が転職して弊社に来ることになった……。そんな3年ぶりの再会という物語が面白いのでは

若松さん「私は結構干支への犬猫が好きですね。犬と猫の間に干支の動物が挟まるんです。個人的に気になつてるのが戌年がどうなるか」
渡邊さん「たしかに！ 犬が2匹並ぶのでしょうか？ ……ちょうど子年から始まつたんですね。今後もまた、さあ

Yuu-jin「渡邊さんがないければ、犬猫は生まれなかつたかもしれないで
す。」
良猫だつたんです。中でも初代の猫は全然人になつかなくて。少しづつ馴ら
させてすることで体に触らせてくれるようになつたんです。そこから3代にわ
たつて猫がなづくよになりました」

木桶でお酒造りをしていて、犬がお酒を販売しているという図、3年目は蔵開きをラベルで再現しました。2017年ごろには、急に犬猫がハズつて人気になりましたね。Yujin「これまで季節限定商品やリキュールなど、犬猫はさまざまな展開をしてきましたが、気に入っている開を開いてきましたが、気に入っている

商品企画の裏側

商品が生まれてくる裏側には、クランドのさまざまな企画担当者たちが関わっています。
人気の動物ラベルの商品たちはどのような経緯を経て生まれてきたのか、
それぞれ異なる形で生まれてきた商品の企画の裏側に迫ります。

Product 1

酒を売る犬 酒を造る猫



「大切な友と呑み交わす酒」がコンセプトの日本酒です。宝山酒造の次期当主の渡邊さんと営業の若松さんは、大学の同級生。3年ぶりに再会し、同じ酒蔵で働くようになった2人を猫と犬に見立てて描いています。

渡邊さん「そうです。飲み屋での雑談からはじまつたんですね。キャッチーなラベルのお酒を作りたいという話題から、酒蔵に看板猫がいるって話になつて、じやあ猫のラベルにしようかって話に。けど、猫だけじやパンチが弱いと……」

若松さん「そこでKUURANDさん側から『若松さん、大っぽくないですか?』って言われたことをきっかけに、犬も一緒に入れることに(笑)」

YUJIN「人懐っこい性格を含めて、だつたと思うんですけど、その節は失礼いたしました……」

若松さん「当時はそんなことと言われたことなかったのでびっくりしたんですねけど、犬猫をデザインした『デザイナーさんも僕たちの写真を見て描いているからですかね。最近では犬猫のおかけか、よく『犬っぽい』って言われるようになりました(笑)」

渡邊さん「私はあまり猫好きのエビソードはないのですが……。最初モテ



「猫飼いさんに喜ばれる商品とは』というテーマで、当時マーチャンダイザー（MD）だった私が企画を務めました。しかし私自身が、猫を飼っていないから、どうも自信がなかったので、『猫飼いさんがはじけるお酒』の正解となるお酒の開発に取り組みました。

入りに……。そんな時にたまたま目にしたのが『猫の「口」口音に癒しや効果があるらしい』という記事。日本酒に音を聞かせて醸すという事例はすでにあったので、実現性が高いこの案にまとまりました



社から
に心よき協力者
いたきました。
した。最終的に
には猫好き
にも、お酒好き
きにも納得
してもらえる
お酒になった
と思っています。
す。ゆるっと
飲んでほしい
です」

猫の日企画から生まれた

にやおん 猫音 純米吟醸 ~ゴロゴロ仕込み~

話をきいたのは

KURAND
商品企画チームリーダー
Maya

猫とお酒で癒されてほしい……
そんなアイデアを形にしました



SNSのバズがアイデアに

光るポメラニアン



茨城県の小さな酒蔵が造る純米吟醸酒です。ラベル上で光り輝く可愛らしいボメラニアンを眺めながら、ほっこりするような晩酌時間ををお楽しみください

た光る首輪が相性抜群で、絶対に光らせたらウケると思いました。あとシンプルを見て元気が出る」

A drawing of a small brown dog with a glowing green and blue aura around its neck.

「光るボメラニアン」。ネットでも「なぜ光らせた」と話題になっていましたね(笑)。

Yumia「動物をモチーフにした商品は以前から人気があったので、増やしていくこうという方針の中、まずは人気の犬種など狭いターゲットにアプローチをしていこうとこう話になりました。その際に例に上がったのがボメラニアン。SNS周りに詳しいYumiaさんと一緒に相談したところ、ボメラニアンだったら絶対に光らせるべきだと(笑)」

す。しかし今回の商品は光らないと企画自体が成立しないので、なんとか説得を試みました」
Yuma「ボメラニアンの顔もいろいろ難航しましたね」
Yuka「そうなんです。ただ一概に『可愛く』といつても媚びない可愛さ、性別を問わない可愛さになりますで……」「デザイナーさんと結構何度もやり取りました」
Yuma「いい大人が揃いも揃って、ボメラニアンの可愛さについて真剣に議論していくシユールな時間でしたね(笑)」
Yuka「あと明るい中でも光っていくように見せたい」ということだわりもあって、蓄光インクの仕掛けは首輪を虹色にして明るいさを出しました。実際に光るか不安でしたが、完成品は

思った以上に光って安心しました」
Yuma「発売後はすでにブランドの公式Xのフォロワーさんの中にボメ好きさんが多かったです。愛犬と一緒に撮影してくれるなど、初動から反応がたくさんありました。商品ページのレビューも良い反応が多かったです」
Yuka「暗闇で光らせている様子も撮ってくれている方が多くて嬉しかったです。光らせる理由があつて半分の商品は、きちんとお客様に刺さるということがわからました」

蓄光インクを活用した 一連の技術開発

ヒミツが明らかに！

くにゃんと大解剖！

人を招く左手

左手を挙げる招き猫は「人を招く」と言われています。クランドが酒屋として多くのお客様までにぎわう場所になるように、という思いが込められています。

無類のお酒好き？

実はくにゃんどには「無類のお酒好き」「みんなをびっくりさせようと意外性のあるお酒を日々ニヤニヤと企んでいる」など隠れた性格設定が。これらはクランドの公式Xのイメージから作られたとか？

くにゃんどの仲間たち

くにゃんどの友だち
ひとり呑みが好きなくにゃんどだけど、たまには友だちと乾杯したくなる。

くにゃんどのパパ
ダンディなおひげがトレードマークのパパ。父の日が近くになるとやってきます。

くにゃんどのママ
ぱっちりまつ毛がトレードマークのママ。母の日が近くになるとやってきます。

くにゃんと誕生秘話

くにゃんとの生みの親
NEWPEACE Inc.アートディレクターYOPPYさん

2022年11月、クランドのブランドリニューアルに合わせて誕生した公式キャラクター「くにゃんと」。その正体は謎に包まれてきました。今回は特別にくにゃんとの生みの親であるYOPPYさんに、誕生秘話から性格までとておきのヒミツを教えてもらいました！

くにゃんとは2022年のクランドのブランドリニューアルに合わせて誕生したキャラクターでした。私が所属する「NEWPEACE」がリブランディングのお手伝いをして、「新しいクランドの看板になるロゴが必要では」となった時にくにゃんとが生まれました。ロゴは「クランドを知らないお客さまにもクランドが『酒屋』であることを瞬で伝える」ためのアイコンです。ヒアリングを行った際、KURAND（クランド）の運営元はもともと街の酒屋だった歴史があり、その酒屋には野良猫がよく来ていたと伺いました。その話から発想を膨らませて、猫をモチーフに酒屋として今までの歴史「や親しみやすさ」をロゴに込めていきました。

くにゃんとができるまで、どのくらいの時間がかかりましたか？

2ヶ月くらいでしょう。累計では100

さまざまなパターンのくにゃんと(原案)

一最後にYOPPYさんのお気に入りのくにゃんとがいましたら、教えてください！

あまりにもかわいくて、作っているうちにいろいろなボーズをさせてくなつて動かして、いたつ、シーズンに合わせてたくさんのかわいい鏡餅くにゃんとになりました。中でもお気に入りは、猫なのにトナカイになつてサンタのようになつてプレゼントを持つ「クリスマスくにゃんと」や、お餅のシルエットになりきつているのがかわいい鏡餅くにゃんとなど(右画像参照)。ちょっとなりきつている感じのくにゃんとはかわいいですね！

一素敵なお話をありがとうございました！

